

新潟市GIGAスクール全体研修会 授業改革パイロット事業実践報告会

ループリックの共有とタブレット端末の利活用

指導と評価の一体化

新潟市立関屋小学校

研究主任 鈴木 亨

# 当校の研究主題

**「成長を自覚し、主体的に学ぶ子供を育成する授業」**  
～ループリックの共有とタブレット端末利活用による指導と評価の一体化の研究～

以前から「成長の自覚」に重点  
「指導と評価の一体化」

しかし



**評価が指導に十分に生かされている  
とは言えない状況**

# 当校の研究主題

**「成長を自覚し、主体的に学ぶ子供を育成する授業」**  
～ループリックの共有とタブレット端末利活用による指導と評価の一体化の研究～

**評価規準や評価方法等の評価の方針について必ずしも教師が十分に児童生徒に伝えていない場合があることが指摘されている。しかしながら、どのような方針によって評価を行うのかを事前に示し、共有しておくことは、評価の妥当性・信頼性を高めるとともに、児童生徒に各教科等において身に付けるべき資質・能力の具体的なイメージをもたせる観点からも不可欠であるとともに児童生徒に自らの学習の見通しをもたせ自己の学習の調整を図るきっかけとなる**

平成31年1月21日

中央教育審議会 初等中等教育分科会 教育課程部会

「児童生徒の学習評価の在り方について（報告）」より

# 当校の研究主題

「成長を自覚し、主体的に学ぶ子供を育成する授業」  
～ループリックの共有とタブレット端末利活用による指導と評価の一体化の研究～

## 学習評価の共有

共有  
ループリックの

タブレット  
端末利活用

# ルーブリックの共有

## ・判断基準をレベルごとに整理した一覧表

本時の評価規準

達成した姿のイメージが明確になる

や魅力とそれを支える理由や  
できる。【思考・判断・表現①】

○ 友達と必要な語や文を見付け、粘り強く文章に表そうとしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

ルーブリック

	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
レベル3	和紙のよさや魅力が伝わるように理由や事例を使って書くことができた。(「中」の2つとも) 和紙のよさや魅力が伝わるように理由や	読み手に分かりやすく書こうとしたり、友達の文章を読んでアドバイスしたりすることができた。
レベル1	和紙のよさや魅力を伝えるために必要な言葉や文を考えることができた。	時間になるまで力がついたり、文章を書こうとしていた。

様々な学習の場に適した判断基準を設定できる

# ルーブリックの作り方

① 学習指導要領を基に、単元の評価規準を設定

② 単元の評価計画（ルーブリック計画）

③ 本時のねらいに合わせた本時のルーブリック

3 単元の評価規準とルーブリック				
評価観点	知識・技能	思考・判断・表現①	思考・判断・表現②	主体的に学習に取り組む態度
	出典の示し方や事典	「書くこと」において	「読むこと」において、目的	粘り強く、書き表し方

(3) 指導と評価の計画 (全16時間)

次	時	主な学習活動	評価規準	評価方法
第一	1	○ 5年生に伝統工芸のよさや魅力を伝えるという目的を意識して、「伝統工芸リーフレット」を作るという学習の見通しをもつ。 リーフレットを作るためにどんなことを学習するのか見通しをもつ。	態度：学習内容に興味をもち、学習のゴールイメージを共有している。	行動観察 ノート 発言 態度ルーブリック
		○ 教材文を読み、文章の構成を捉える。 ・大まかな内容を読み取り、「初め」「中」「終わり」	思判表：大まかな内容を読み取り、「初め」「中」	ノート 発言

- ② 本時の評価規準
- 和紙のよさや魅力を伝えるという目的を意識して、よさや魅力とそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。【思考・判断・表現①】
  - 友達と必要な語や文を見付け、粘り強く文章に表そうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

ルーブリック		
	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
レベル3	和紙のよさや魅力が伝わるように理由や事例を使って書くことができた。(2つとも*)	読み手に分かりやすく書こうとしたり、友達の文章を読んでアドバイスしたりすることができた。
レベル2	和紙のよさや魅力が伝わるように理由や事例を使って書くことができた。(どちらか1つ*)	分かりやすく書こうとしたり、友達の文章を読んで評価したりすることができた。
レベル1	和紙のよさや魅力を伝えるために必要な言葉や文を考えることができた。	時間になるまで分かりやすく文章を書こうとしていた。

※「破れにくく、長持ちする」と「自分の気持ちを表す方法の一つとして和紙を選んで使うことができる」の2つの文章で評価する(ロイロノート)。

# ループリックの作り方

## 職員間での模擬授業



児童の課題意識に沿って提示する

ループリックの共有

どのように提示するのか

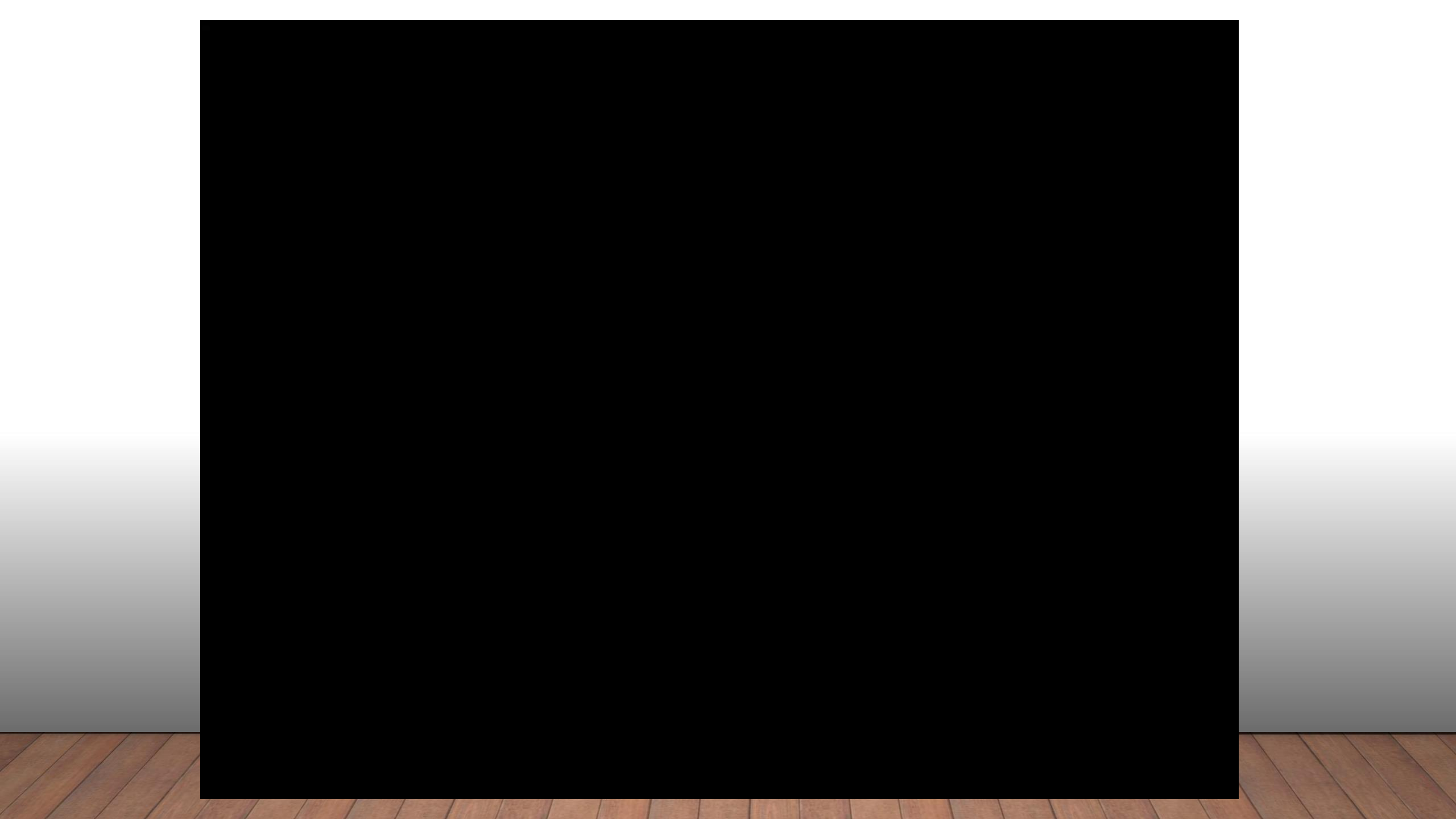
提示する言葉

児童に伝わりやすいか  
自己評価ができるか

レベル1の表現

~~否定的な表現~~

レベル1でも  
肯定的な表現に

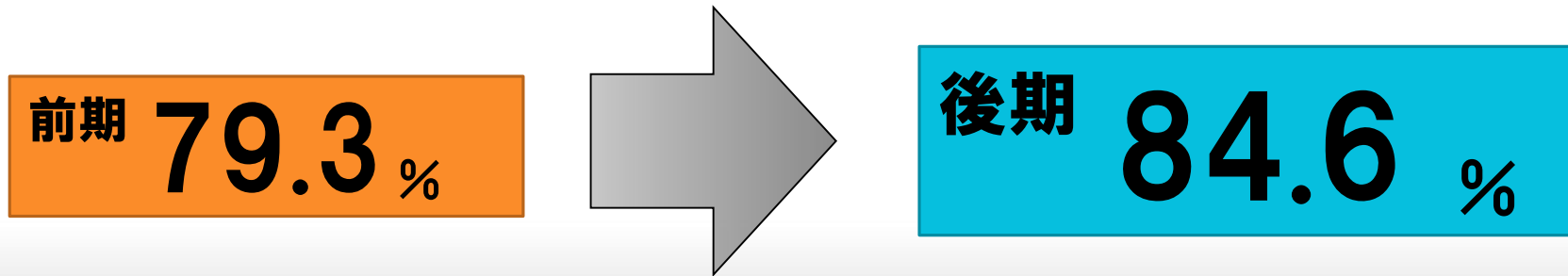




# ループリックの成果

児童アンケートの結果から

「振り返りをもとに、次のめあてや学習計画を立てて取り組んでいる」



ループリックを使って単元や活動の途中で振り返ることで、成長を自覚し、新しいめあてを立て、より主体的に取り組む

# タブレット端末利活用

積極的な利用 オンライン授業も

apple社との連携→評価のアイディア



動画や画像、音声で記録

ループリックカードの提出



記録をもとに自己評価

GIGAスクール構想をAppleと

教師 リーダーとIT

教師のみなさんの声 授業ガイド iPad活用アイデア その他のリソース

写真に絵や文字を書き込む



ビデオを見る

生徒の興味を引き出すためのアイデア

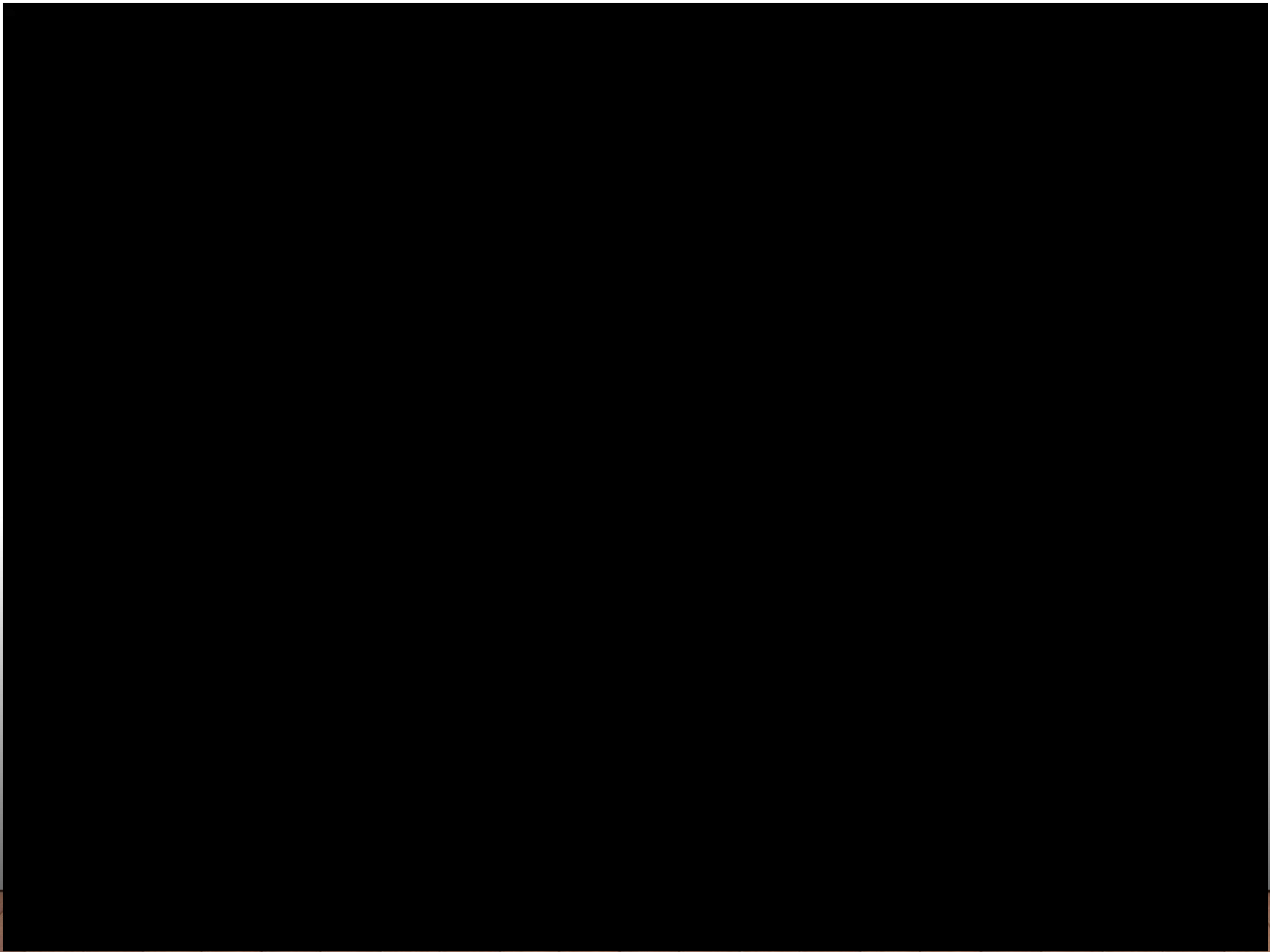


さらに詳しく

授業をスムーズに進めるためのアイデア

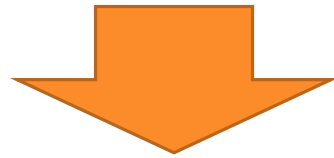


さらに詳しく



# ループリックの共有

タブレット端末を使って提出、アンケート集計



教師は児童の評価を一覧で確認できる



授業改善につながる



編集

目 preview

集計結果

## 比と比の利用⑥振り返り

回答者数 31

集計結果

作成者と先生のみ表示 ▾

回答者名

表示しない ▾

...

## 【1】知識 \*

- レベル3：練習問題で2問以上正しく求められた。
- レベル2：練習問題で1問正しく求められた。
- レベル1：練習問題に取り組んだが、正しい答えが出せなかった。

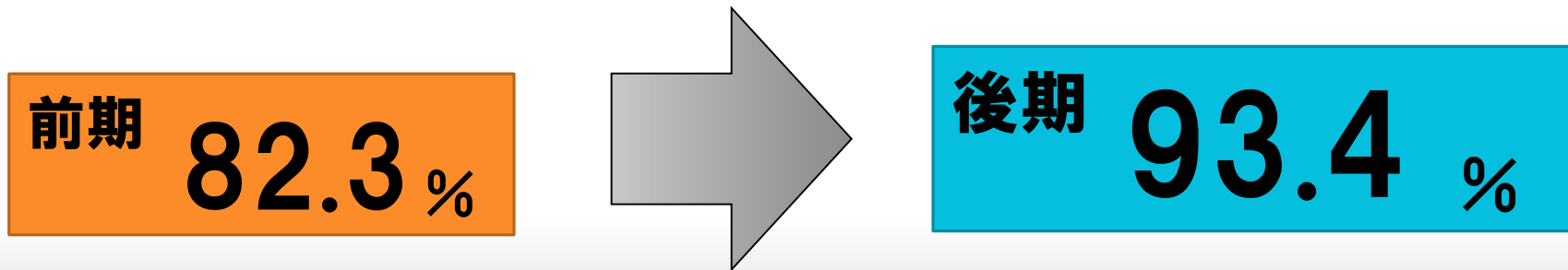
## 【2】考える \*

- レベル3：高さや影の長さをどのように求めたのか、式や図だけでなく説明も書けた。(3から21は7倍になっているから…)



# タブレット端末利活用の成果 児童アンケートの結果から

「いつもの授業で、タブレットを使って自分の考えや思いを表しています」



タブレット端末を使って表現したり、  
振り返ったりする機会が増えたことを児童が実感

## **研究全体を通しての課題**

**「児童の自己評価と、教師の評価との相違」**

**「児童の自己評価の蓄積」**

# 見えてきた課題

## 3年算数「筆算のしかたを考えよう」

本時のねらい

活動前にルーズブリックにある「キーワード」が何かを児童が正しく共通理解できるかがポイント。

ードを使ってカードに筆算のしかたをまとめ、それを友達に説明しようとしている。

【思考・判断・表現】

ルーズブリック

	知識・技能	思考・判断・表現
レベル3	くり上がりに気を付けて、練習問題が全部できた。	キーワードを使って、マスターカードを書き、友達に説明できた。
レベル2	くり上がりに気を付けて、練習問題が半分以上できた。	キーワードを使わなかったけれど、マスターカードを書き、友達に説明できた。
レベル1	間違えてしまったけれど、練習問題を筆算でといた。	友達の説明をしっかりと聞くことができた。



## 見えてきた課題「児童の自己評価と教師の評価との相違」

【知識・技能】の評価は、授業の終わりの練習問題で判断するため、児童の自己評価と教師の評価に差は無かった。

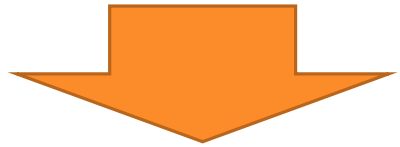
一方、【思考・判断・表現】の児童の自己評価と教師の評価は、下のようになった。

	レベル3	レベル2	レベル1
児童	1 3 人	6 人	0 人
教師	1 1 人	6 人	2 人

自己評価と教師の評価が一致しなかった児童は6人。  
その内5人は、自己評価が高い。

**見えてきた課題「児童の自己評価と教師の評価との相違」**

**評価の差を縮めるために**



**分かりやすい表現と丁寧な説明**

**その上で**

**差が生まれたら、児童に結果をフィードバック**

**児童間での相互評価で評価の修正**

## 見えてきた課題

**「児童の自己評価と、教師の評価との相違」**

**「児童の自己評価の蓄積」**

**見えてきた課題「児童の自己評価の蓄積」**

**タブレット端末を使つての評価**

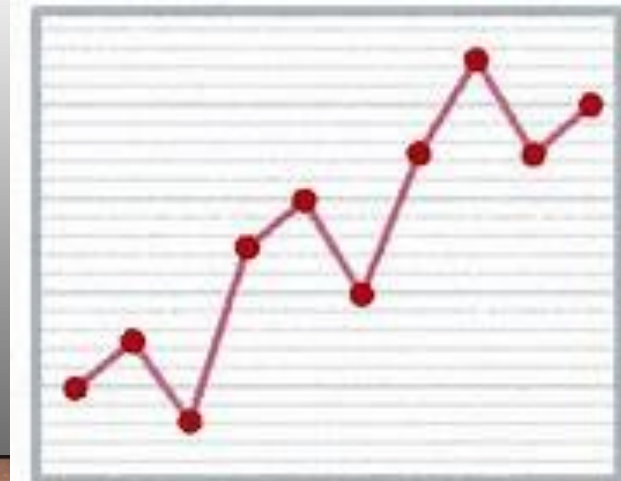


**教師は一覧で見られ、指導に生かせる**

**効果的に使うことで**

**自己評価の変化をグラフ化**

**自分を見つめ直す**





新潟市GIGAスクール全体研修会 授業改革パイロット事業実践報告会

ループリックの共有とタブレット端末の利活用

指導と評価の一体化

御清聴ありがとうございました

新潟市立関屋小学校

研究主任 鈴木 亨